



ニューズレター限定 社長コラム

『2024年あけましておめでとうございます。』

代表取締役 近藤 千奈美

まだまだコロナへの油断は禁物ですが、やっと経済が回り出してきたようです。海外からも観光客が日本に戻ってきていて、明るい兆しが見えてきているように感じています。

また、海外同様に日本もかなり物価高になってきているところで増税という声も聞こえてきて、「会社経営のかじ取りがさらに難しくなってきたぞ〜」とやや凹みがちに思う一方、ビジネスのやり方はYouTubeやChatGPTといった無料ITツールの活用などを含めると、10年前とは比べ物にならないくらい間口とチャンスが広がっていることに目を向けるとワクワク感が上がってきます。

コロナをきっかけにIT活用が一段と進んだ結果、社会のシステムがゴロンゴロンと大きく変わりました。お年寄りのIT利用が危惧されていたことがありますが、ファミリーレストランでタブレットを操作しながら注文している方々も結構お見掛けするので、生活環境でITツールに何度も触れていくことで日常の道具としてすでに認知、活用ができているのかと感じます。

そうした光景に出会うたびに、人間は本当に環境に柔軟に適用する能力が高いのだと思うのです。私たちの先祖が生き延びてきたのもまさに環境へ適応してきた結果にほかなりません。

外部からくる変化に嫌々でも、少しずつ、小さく分解して、早めに咀嚼して飲み込んでいくと、嫌だと感じるレベルが下がり、結果として変化に適応できるのではないかと思います。そうした活動はクリエイティブな活動であり、大きな飛躍への一歩となるはずです。

硬いものは衝撃を受けると割れやすく、やわらかいものは衝撃を吸収して割れにくい。

2024年は頭を柔軟に、かつ強かに生きていきます。新年もどうぞよろしくお願いいたします。

新年の抱負



社長



- ① 会社の事業を発展します!
 - ② 海外旅行に3回は行く!
- 健康面：オーラ倍増!



仕事編：笑顔がいっぱい
家庭編：記念日にお祝い
健康編：筋力アップ

エンジニアリング事業部

年々感じる「体力の衰え」を
予防するため、体を鍛えます。
今年もどうぞよろしくお願
いたします。



心と身体を整えるため
週1回1時間ほど
ヨガをする

新しい年も会社の
バックオフィスとして
創意工夫を図りながら、
会社を盛り立てていきます!

総務

外に目を向けて、
もう少し試合に出ます

新しい事を
チャレンジする

グローバルビジネス事業部

テクニカルコミュニケーション課



未知の領域に
足を踏み入れ、
輪を広げる。

仕事と家事、育児の三立に
加えて、資格取得の挑戦や
自分磨きの年にします!



健康維持のため
アルコール消毒と
タールコーティングを
励行する

できることを増やし、
さらなる飛躍を目指す

公私ともに、
1日1回笑顔になれる
ようにがんばります。

今年こそ!!!
運転スキルを磨き、
1発・真っ直ぐ・駐車!
を目指す

何事もチャレンジ!



寒さや暑さに負けない
身体づくり!
腰を痛めない!

八面玲瓏!

早起きして朝活を
頑張る! 三日坊主に
ならず継続…!

システムソリューション課



教えて！

翻訳Q&A



Q:前回は「ペン」に関する英語を学びましたが、その他のオフィス用品の英語表現も知りたいです。

A.では今回は「ペン」以外の知っていて得するオフィス用品の英語表現を学んでいきましょう。

・ノートパソコン・・・"laptop"

"lap" (膝) の"top" (上) に乗せられる PC と考えるとイメージがしやすいです。
"laptop"よりも小型の PC は"notebook"と呼ぶことが多いです。

・段ボール・・・"cardboard box"

"cardboard"は「厚紙、ボール紙」という意味です。日本語の「段ボール」という言葉の由来は、切断面が段々になっていることと"cardboard"の"board"の発音が「ボール」に変化したからと言われています。

・ガムテープ・・・"packing tape/duct tape"

"gummed (粘着性のある) tape"という英語表現が日本語の「ガムテープ」の元となっていますが呼称としては"packing tape"あるいは"duct tape"が一般的です。

・ホチキス・・・"stapler"

日本語の「ホチキス」は、明治時代にアメリカの E. H. Hotchkiss 社の紙綴器が日本に輸入されてからこの製品が社名で呼ばれるようになったのが由来です。ちなみにホチキスの針は英語で"staple"と言います。

コンテックス HP
下記 QR コードまたは
『技術翻訳
コンテックス』で検索！



HP にバックナンバーが
掲載されています♪

オフィス関連の備品も和製英語かどうかの判断が難しい表現が多いです。商標が普通名詞になったり、伝来の過程で元の言葉の発音が変わったりして和製英語が生まれることがよくあります。これを機に身の回りのものの語源を調べてみるのも面白そうですね。